

石狩管内小中学校長会では「石狩・千歳大会」の開催に向け、令和2年度7月に準備委員会を立ち上げ 準備を進めているところです。

まずは、この準備委員会で検討し 提案させていただいた2点などについて 説明させていただき、協議していただければと思います。研修部資料24ページをご覧ください。

1点目は、キャッチフレーズについてです。

このキャッチフレーズ作成にあたっては、キーワードを「世界をつなぐ」、「未来を創る子どもたち」、そして、令和2年度より完全実施された新学習指導要領と新型コロナウイルス感染症に対応した新しい生活様式による学校の学びを「新たなステージ」とし、検討しました。開催地となる、「千歳市」は、北海道の空の玄関と呼ばれる新千歳空港があり、観光の要所として日本や世界各地から人が訪れ、市民の平均年齢が低く、全道一若いまちとして活気にあふれています。道小として2年ぶりに開催される「石狩・千歳大会」を通して、千歳の地に全道各地から参加していただいた校長先生方に「新しいステージで、求められる学校経営」について、熱く議論を交わしていただき、その成果を千歳の地から 各地へ広く発信したいという願いを抱いています。

このような理由からキャッチフレーズを、

「世界をつなぐ千歳から 未来を創る子どもたちの

笑顔と希望を乗せ新たなステージに歩み出そう！」と提案させていただきます。

2点目は、シンボルマークについてです。

大会開催要項に記載の通り、大会に集う人々、若く活気のある千歳、躍動する子どもたちを人の姿で表現しています。また、支笏湖などの豊富な水を水しぶきで表しています。そして、明るい色彩のグラデーションには、子どもたちの笑顔と希望のための創造的な研修成果を各地へ発信したいという願いが込められています。

このような趣旨で提案させていただきますので、キャッチフレーズ同様、ご協議の程よろしく願いいたします。

引き続き、大会運営の進捗状況について説明させていただきます。

まず記念講演についてです。講師は、北海道日本ハムファイターズ取締役 事業統轄本部 本部長 前沢 賢（まえざわ けん）氏をお招きいたします。演題は「想いを叶えるリーダーのマネジメント～世界がまだ見ぬボールパークをめざして～」を予定しています。

前沢氏は、令和5年に北広島市に開業する北海道日本ハムファイターズの新しいボールパーク「エスコンフィールド北海道」建設を統括している方であり、我々にとってマネジメントについての示唆に富む話になることを期待しているところであります。

次に、会場についてです。25 ページをご覧ください。

全体会場は千歳駅から徒歩7分程度の「北ガス文化ホール（千歳市民文化センター）」です。

分科会会場は、この「北ガス文化ホール」を含めANAクラウンプラザホテル千歳、中心街コミュニティセンター・花園コミュニティセンターの合計4施設11会場を確保しました。どの施設も全体会場の「北ガス文化ホール」から徒歩15分圏内です。各会場は広さやコロナ対応による人数制限のために使用人数に違いがあり、一番狭い会場で定員は27名、広い会場では50名となっております。人数制限は今後のコロナ感染の状況により変動があるかもしれませんが、現在の人数で確定し、準備を進めてまいります。

また、駐車場については、「北ガス文化ホール」に役員のみ駐車することになります。それ以外の参加者については、徒歩または公共交通機関を利用するか、駐車については宿泊ホテルの駐車場、民間駐車場をご利用いただきたいと考えております。ご不便をおかけしますが、ご協力をよろしくお願い致します。

今回の千歳大会は、コロナへの対応も必要になります。受付時には検温・消毒を行い、全体会・分科会では一定の距離をとることと換気を徹底させたいと考えております。なにとぞ、感染防止のために参加者の皆様のご理解ご協力をお願い致します。

最後に、現在石狩管内小中学校長会では、4月に実行委員会の活動を活発化させるため、事務局と各部の部長・事務局長で詳細な計画づくりなどの準備に努めているところでございます。

コロナを乗り越え、来年9月、皆様にお会いできるのを楽しみにしております。以上で開催地からの提案と説明を終わります。よろしくお願い致します。